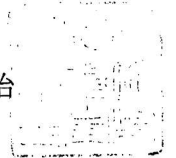


平成24年12月 4日

下妻市の子供たちを守る会

下妻市長 稲葉 本 治



子どもの健康調査を求める要望に対する回答について

日ごろより、市の児童福祉行政にご協力を賜り感謝申し上げます。

さて、11月15日付けで受領いたしました「子どもの健康調査を求める要望書」について、下記のとおり回答いたします。

記

1 「専門医による甲状腺検査を含む健康調査を長期にわたり定期的を実施してください」について

茨城県においては、知事が、福島県において実施された内部被ばく検査の具体的なデータをもとに、子ども健康調査に関して必要がない旨の発言をしておりますが、県内において牛久市、龍ヶ崎市、東海村が内部被ばく検査を実施しております。これらの3市村は、県内でも放射線量が高く、農作物の出荷の見合わせもしている地区ですので、必要性が高い地区と思われれます。幸い当市においては、県内でも放射線量が比較的低く、これらの地区よりは緊急性は低いと思われれます。本来ならば、国が実施をしなければならぬレベルの事業と思いますが、今後状況の変化する場合も想定し、近隣市町村の対応状況を勘案しながら、検討したいと考えております。(担当：保健センター)

2 「学校給食の安全性を担保するため、検査機の精度向上を図ってください」について

現在当市では、市場に出回っている食材は安心安全なものと認識しておりますが、保護者の皆様等の不安を払拭するため、市に配備となった放射性物質測定器と県立下妻特別支援学校に配備されている放射性物質測定器を使用して、毎日給食食材の放射性物質の検査を行っています。万が一基準値以上の数値が出た場合には、食材のとりやめ等の対処ができるように、食材の前日検査を基本として行っております。

現在使用している検査器の特徴としましては、迅速に短時間で放射性物質を測定できるものであり、毎日使用する給食食材については、比較的簡単に迅速に測定できる検査器での測定が有用と考えます。測定を始めてから、現在まで放射性物質は全て不検出であり、安心安全なものと認識しております。給食の献立に使用する食材は、栄養教諭の指導のもとに発注しておりますので、今後更に食材の産地等の確認をするなど、安心安全な食材の使用に努めて参ります。(担当：学校教育課)